

平成26年度社会力育成事業 研究発表会資料

1 はじめに

本校生徒が身につけなければならない能力として、人間関係形成力や社会形成力、自己理解力などがあると捉えて本事業に取り組んでいる。具体的には、生徒会活動を活性化させて、学年・学級における様々な取り組みの中で自主的に活動する機会を設け、自ら考え行動する力の育成に取り組んでいる。また、地域の活動に積極的に参加し交流を深めることによって、地域における自分の役割と責任について学び、地域社会の一員としての自覚を持って生きる態度を育成している。

2 実践内容

(1) 自主的な生徒会活動や行事などの企画・運営について

(委員会活動)

風紀委員会：チャイム着席、朝のあいさつ運動

いじめ防止啓発運動

美化委員会：朝清掃 美化クリーンコンテスト

保健委員会：掲示物・映像などによる啓発運動

体育委員会：体育大会、球技大会、授業規律チェック

文化委員会：廃品回収

図書委員会：図書室の運営、新刊などの告知



あいさつ運動の様子

(3年生を送る会)：3年生の軌跡をまとめたDVDを作成して上映をし、下級生からのメッセージを伝える。3年生からは、1・2年生に向けて学年合唱を届ける。

(朝の清掃活動)：毎朝、各クラブが学校周辺の清掃活動、あいさつ運動を行っている

(地域参画事業)

武庫まつりへの参加：生徒会の被災地支援活動の展示発表を行う。

吹奏楽部の地域参加：本校吹奏楽部が、校区内の幼稚園・小学校の行事に参加をしたり、老人ホームを訪問し演奏を披露する。

交通安全運動：武庫中学校・武庫小学校・武庫の里小学校の3校合同で、登校時に通学路に立ち交通安全を呼びかける運動を行う。

校区内の清掃活動：育友会と合同で、西武庫公園や西武庫商店街周辺の清掃活動を行う。

(2) いじめ防止・健康安全促進ビデオについて

風紀委員会と保健委員会の活動の一環として、平成 26 年度の文化発表会で放送された風紀委員会による「いじめ防止ビデオ」と保健委員会による「健康安全についてのビデオ」を放送します。

それぞれの委員会が委員長主体となって先生と協力しながら、啓発運動のためにビデオ作成に取り組んだ。内容は実際に学校生活や日常生活の中で起きてしまいそうな事を題材にして、楽しみながらも学ぶことができるようになっている。

(3) 東日本大震災の被災地への支援活動について

《 被災地との交流 》

平成 23 年の夏休みに行われた市内生徒会交流会で、尼崎市が気仙沼市を支援していることを知り、継続的な支援を行うために、生徒会長から教育委員会に手紙を送り協力を求めた。教育委員会の指導主事から、気仙沼市立鹿折中学校との交流ができるとの連絡を受けて交流が始まり、現在まで定期的に行われている廃品回収と毎月 11 日に「募金 Day is 11th」と称して、武庫之荘駅前で行っている募金活動で継続的な支援を行っている。

募金Day is 11th による募金額 (平成24年5月～26年11月)

